

Title: 萌の宿



萌の宿 > 2012年05月 アーカイブ

12.05.22

六信五行

[Tweet](#)[Check](#)

夕方、空路でコタ・キナバルに到着いたしました。
朝7時前にコタ・バルの宿を出発し17時にコタ・キナバルの空港に到着。
1日ばかりでした...
これまでの経験上、(場所によりますが)陸路移動の方が
時間のロスがなく、
もちろんのことですが、経費削減になるのではないかと
思っています。

話がかわりますが
3月に日本を出てから
今まで経験したことのないスピードで
色々な場所へ行き
沢山の人の出会い
新しい経験をしてきました。

知り合う人達に
「良かった場所？」と聞かれるとすごく悩んでしまいます。
撮影を目的にしている私からしてみると
「良かった場所」=「撮影が進んだ場所」
という見方になってしまうので...
実際、コタ・バルも万人受けする場所ではないと思います。
しかし、撮影を放きに考えると
私自身、とても良い時間を過ごせたなと感じています。

コタ・バルは厳格なイスラムの街です。
9・11やイラク戦争のアメリカ対イスラムの派手な戦いに目を奪われ
正直、アメリカからの影響を多に受けている日本人である私のイスラム教徒への偏見は
少なからずあった。
実際、アメリカ国内でもムスリムということで差別や偏見を受けている人たちが大勢いる
というのを新聞で読みました。
私には信仰心や宗教的な価値観はないに等しいし、当事者ではないから
どちらが悪いとか良いとかっていう事はいえません。
ただ、コタ・バルでの滞在によって私の中で色々なことが変化してきた気がします。

(色々...本当に色々。ここに書けばかなり長い文章になってしまうので詳しいことは徐々に
書いていきます。多分...)
とにかく、写真の枚数は伸びずとも自身の作品テーマ(下記)の為に少しでも良い場所だ
ったと思います。

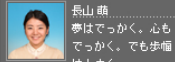
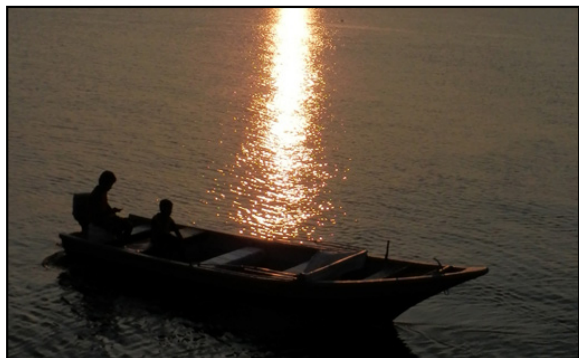
FWで私が立てたテーマは「人と環境」
他人と理解を深める為には自分は何をするべきなのか
私自身が持つ、「常識」や「概念」を変えるため、写真を通して他者や異文化への理解を
したい
そんな気持ちから
アジアの様々な環境の中で暮らす人達のポートレート撮影をしようと思いました。

もちろん
写真は外観を捉えるものだから
見る側の状況で感じられ方は大きく変わってしまい
撮影者の私自身が被写体の内部まで理解したとしても
見る側にとっては無駄なことなのかもしれません。

でも、この撮影は私自身の為。誰かの為ではないんです。

なんだ今回のブログは書きたいことが多すぎて、結局書けていない...
いつも増して私の文章構成力のなさ
言葉のなさが発揮されてしまいました...ずいません。

とにかく！
私が一番言いたいことは宿のオーナー家族が本当に親切してくれたということです。
パパはひたすら「寂しい寂しい」と言っ
ママは「次はいつ？すぐ来る？お友達も沢山連れておいでよ」
と言ってくれました。
本当に感謝です。
そんなもって、初めて
ムスリムの女性がヒジャブを外した姿やジャージとTシャツで過ごす姿を宿で見ました。
ん～なんだかホットする瞬間でした。



長山 萌
夢はっかく。心も
っかく。でも歩幅
は小さく。

山岳地帯や国境付近
をまわります。移動
が大変...トホホ

● 最近のエントリー

- ☞ [六信五行](#)
(2012.05.22)
- ☞ [ホームステイ\(高分\)～](#)
HomeStay
(2012.05.18)
- ☞ [Malaysia / Kota Bharu](#)
(2012.05.17)
- ☞ [旅はなんたら...](#)
(2012.05.09)

● アーカイブ

- ☞ [2012年08月](#)
- ☞ [2012年07月](#)
- ☞ [2012年06月](#)
- ☞ [2012年05月](#)
- ☞ [2012年04月](#)
- ☞ [2012年03月](#)

● 投稿カレンダー

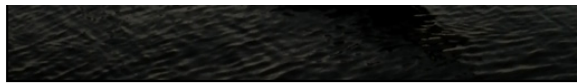
● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0



ああ、でもやっぱり、もっともっと操りたかった...

『六つの信仰と五つの行い』

五行

信仰の告白、礼拝、喜捨、断食、巡礼

六信

アッラー、天使、啓典、預言者、来世、天命

イスラム教に関して五行は六信を信仰していることを神の前で行動であらわすものだそうです。

イスラム教徒には「弱者をすずんで助ける」

という考えが根付いていて

「孤児、老人、病人などを助けるとアッラーの恵みをうける」

いわゆる

「情は人の為ならず」ってやつですよ。多分...

カテゴリ:

post by 長山 萌 | 日時: 2012.05.22 | [バナーリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

萌の年話 > 2012年05月アーカイブ

12.05.18

ホームステイ (気分) ~HomeStay

[Tweet](#)

[Check](#)

朝はコーランで目が覚めます。

本日は金曜のみ開催されるBirdSingingContestなるものがあるということで

朝からチャイナタウン近くの会場へ。

はじめに申しておきます。

私の目的は鳥ではないです。

会場へ行ってみると...

イカツイ男性が大勢。

そして、いまいち理解し難い光景が目の前に...

200近い鳥がごに一羽ずつ入っていて

右でピヨピヨ

左でピヨピヨ

そして審査員らしき4名の男性が何かをメモ

来る人来る人(ツーリスト) 皆さま

「これは一体何が起きているの?」

と私に尋ねます。

そんなことローカルのおっちゃん達に聞いてくれ...

と思いつつも「とても親切にかつ内容は適当に」説明していました。

カメラをぶら下げて歩いてると皆さま

「こっちはベルギーグット」「ジャパニ! この鳥はナイスボイスね」

ほらほら~おれっちの鳥を操りたまえ~

と言わんばかりに私を急かします。

やめて下さい。目的は鳥じゃないんです。

しかしながら記念に。



その後、おっちゃん達に朝ごはんのお誘いをしていただきました。

宿で済ましてきたので、いらないと書いても

皆さまとでもしつこく誘ってきます。

仕方ないのでコーヒーを一杯だけ...

▼朝から濃すぎる面子

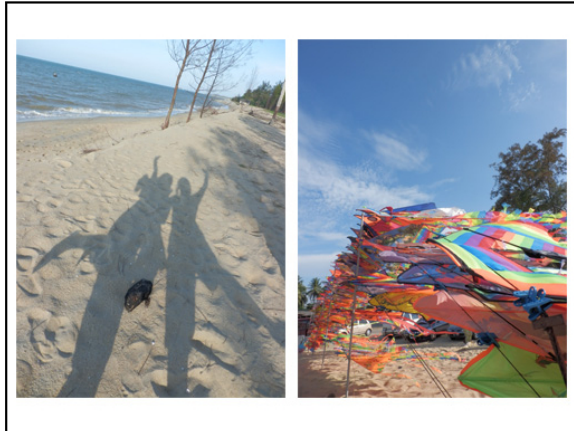


その後は

今日は休日だから街には人が沢山いるはず! 頑張れ私!

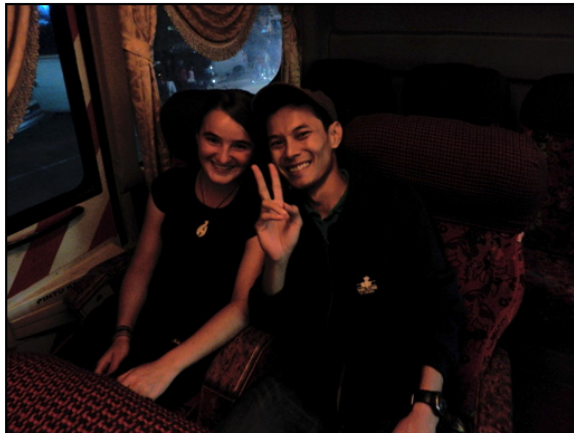
しき念をうたえながら帰るよ! ねが

と何回もへたくそに落ちたが
 なんだか不調...着に戻ってぐったり
 ネットが落ちて気分も落ちて
 ネットカフェ意味不明で更に気分が落ちて...
 そしたら Khairul (畜オナーの息子・通称YOU・年齢不詳) が海行こうと言いついて
 Tamara (ドイツ人ツーリスト・18歳) と私の3人でP.C.Bへ



P.C.Bはコタ・バル市街地から一番近いビーチで
 マレー作戦の際に日本軍が最初に上陸したビーチだそうです。

夜には、TamaraとKhairulが
 土曜日の夕方にクアランプールで行われるサッカーの試合を見に行くということで
 パパさんママさんに誘われ2人をバス停までお見送り。



2人ともありがとう。2人のことは一生忘れないよ。さようなら。
 日曜にはまた会えるけど...
 マちなみに2人はKELANTAN FAを支持。そしてバスは専用車。



帰りにパパさんママさんと夕食。





まさかのパタイ。しかもシーフード。
こちらに来てから食パン・揚げパン・ナシゴレンが毎食の定番だったので
久々(といっても日曜以来)のパタイに感謝。

明日は9時から談話室でサッカー観戦だそうです。
夕べまでいた沢山のフレンチもTamarも今夜はいないので
とても静かな夜でございます。

カテゴリ:

post by 長山 萌 | 日時: 2012.05.18 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

萌の生活 > 2012年05月アーカイブ

12.05.17

Malaysia /Kota Bharu

[Tweet](#)

[Check](#)

こんにちは。
遂に、遂に、この国にやってきました。
マレーシア！
滞在予定国10か国中、残り半分を切りましたよ。
2ヶ月で6か国...スタンプカードがどんどん溜まっています。
In Malaysia.
We arrived at the sixth country at last.
マパタワースのチケットカウンターにて
In Butterworth.



バンコクから寝台列車に乗りパタワースへ
パタワースで池ちゃん・谷瀬と共に一泊した後に
先に出発する二人を見送り
私は東に南シナ海を臨むクランタン州コタ・バルへやってきました。
パタワースよりバスで約6時間半
道路は綺麗に舗装されていますが道はくねくね...
右に左にゆらゆら。

We moved by a sleeper train from Bangkok to Butterworth.
After having stayed overnight in Butterworth, I move to Kota Bharu by bus.

無事にコタ・バル着。
When 10:00 passed, I left Butterworth and arrived at Kota Bharu at 17:00.

コタ・バルはマレーシア国内でも最もイスラム色が強い街らしいです。
デパートの屋根までモスクのような造りをしてあります。
コンビニのお姉ちゃんもヒジャブを被っています。
そもそもって休日(金曜日)です。イスラム暦を採用しているからですがね。
完全に別世界です...
Kota Bharu seems to be the town where an Islam color resists most in Malaysia.
To the roof of the department store such as the mosque make it.
The woman of the convenience store takes Hijab, too.
A holiday of this town is Friday. Is this because it adopts Islamic calendar?
It is completely another world ...

カテゴリ:

post by 長山 萌 | 日時: 2012.05.17 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

萌の生活 > 2012年05月アーカイブ

12.05.09

旅はなんたら...

[Tweet](#)

[Check](#)

またまた
メサローン在住の日本人の登場です。
鈴木さん(年齢不詳・茨城県水戸市出身・親の実家は常陸大子の浅川...)
今回は彼が支援しているリス族の村へ撮影に出かけました。
雨が降る中
カップを振りSUZUKIトラックの荷台に乗り。
マリス族のおばちゃんと日本人女子2人





進行方向が一緒ならばおばちゃんは構わず乗ってきます...

村に到着後

鈴木さんと病気の方をお見舞いしてから撮影スタートです。

アカのコードモッチも可愛いけれどリスのコードモッチも本当に可愛い。
 コドモッチは皆可愛い...
 リス族の方は聴がとでも印象的でした。
 マリス族のコードモッチと村長の嫁さん



村長の嫁さんはかなりの美人でした!!!
 リス族の方は男性も女性も普段からリス族の伝統的な服装で過ごしているそうです。
 さすがにコードモッチの帽子は記念写真用に被ってくださったものですがどねっ。

その後、少し山を降りて

畑にいたり別の村に行ったり...

「別の村」というのはツーリスト向けの展示用の村です。



BigEarが...私も高校生のころはピアスの穴を拡張していたなあ。
 でもこの人達は私の何倍もかいたんだろうな...さすがに首を長くした経験はないなあ
 なんて考えながら
 入り口まで行ったものの、私は中に入る気になれませんでした...
 その理由については、少々複雑な問題なので
 とりあえず「高いから」とだけ書いておきます...
 でも、本当に高いです。250Bです。高いです。高いんです。
 畜代の2倍以上してます。高いです。
 畜代って実際は予定の2倍出してるんだから！高いんです。

そして帰りにおやつを食べて



メサローンで1番美味しいラーメン屋「雲南ラーメン」でごはんを食べて畜に戻りました。





実は私以外に日本人観光客が3人。
 写真は左から
 私、鈴木さん、ゆいさん、ヒロさん、おじいちゃん... (皆そう呼んでました)
 トレッキングの為にメサローンに来ていたようですが連日の雨で断念。
 そんなもって私の取材に興っかることに...ま、旅は運ずれ(？)ですかね。違うか...?
 3名とも随分と長い間、日本には帰っていないそうです。
 一番長い方で8年...仰天です。
 因みに最後の挨拶は「じゃ、またね」でした。
 くえ〜かっちょい〜。と長山は心を感じたのであります。

なんと
 ここ『メサローン』へ来てから
 夕食を一人で済ませることが一度もありませんでした。
 ま〜小さい番で共同トイレ共同シャワーなんで、1日でほとんど顔見知りです。
 マボラランドのジョン・レノン



post by 長山 萌 | 日時: 2012.05.09 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

旅の証言 > 2012年05月アーカイブ

商売人にはかないません。〜A woman and a merchant are strong

[Tweet](#)

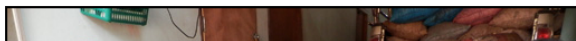
[Check](#)

アカ族の方が行っている
 メサローンの農作物の取引から出荷まで
 「メーター村の商売人・ポンさん」のお仕事に同行させていただきました。

朝、荷を出発してメーター村へ
 村からボーダー前に位置するチェリー畑へ行きました。
 I went together for work of Mr.Pong who was a AKHAs.
 His work is business and shipment of the farm products of the Maesaluang.
 We left the meter village and went to the cherry field.
 マ産りんこでポンさんの嫁さんが重量チェック。
 Mrs.Pong checks weight.



その後は、五時の出荷時間までに大急ぎで仕上げ。
 Then We return home and worked on the assortment of the cherry.





私も自分で手伝いをしたり、はじかれたチェリーを勝手にモグモグしたり...
何をしようが何も言われないので自由気ままに。
人生は自由はなものですからな。ハハハハ

そして、出荷場へ
Arrived at Shipment ground.



ここでビックリ!
重量は自己申請。
車のオーナーとの取引の際は実際に重量チェックしていたのに
いざ自分が売りに出すときには自己申請って...

後々、話を聞くと
やはり、大きな出荷場では通常は
荷物を降ろす前と後で車の重量を計るらしいです。
ま〜気分ですよ。気分...
They usually measure weight of the car before and after taking down baggage.
But It was self-application this time. It will be in what ...

出荷が終わったら今度は別の村（バカスチャイ村）での取引。
でも質が悪い...
afterwards They made a deal afterwards at another village.
But Quality of the cherry was poor.





ボンさんイライラ..私眠い...
Mr.Pong is irritated...I am sleepy...



村人全員 VS ボンさんの嫁
で値段交渉。嫁さんは一歩も譲らないです。
嫁さん強いです。
All the villagers VS Mrs.Pong
Mrs.Pong is strong.

余韻になりますが
山では一夫多妻が認められているそうなのですが
ボンさんの家では嫁さんが稀いので2番目は連れて来ないそうです...
おじいさんが一農連れて行きたくあるようですが、おばあさんが遠い出しました...

話を取引に戻して...
施行さんと私は「買っても売れないっしょ..」とブツブツ口を出す...
Mr.Shigyo and I sandwich the rash mouth"It does not become the product"

私は飽きてきたので自分の目的に専念。
Because I got tired, I devote myself to a purpose.



はいはい。人生は自由なんです。

結局、日本人2人が口を揉みまくった結果
交渉不成立...
少数民族をいじめる気が〜。なんて言ってNGOに怒られそうですね...
As a result that two Japanese kept butting in after all; negotiations failure ...

post by 長山 萌 | 日時: 2012.05.09 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[猿の生活](#) > 2012年05月アーカイブ

12.05.08

美期楽

[Tweet](#)

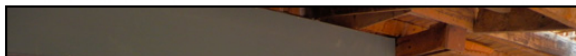
[Check](#)

只今、メサローンでございます。
漢字で書くと「美期楽」
なんて素敵な名前なのかしら。
旅行誌には「メサローン」と記載されていますが
本当は「メサローン」らしいです...
明日はメチャンへ戻ります。

なかなかブログの更新ができずいたので
ここでメサローンでの撮影期間を振り返りましょうね。

初日、メサローンを一通り見ておかげば！
という事で、メチャンの畜のオーナーから紹介していただいた
メサローンのメーター村に住んでいる日本人の施行さんの案内で
ぐるっと回って情報収集。

ひとまずメーター村へ
メーター村はメサローンの中心地から4kmほど離れた
数少ない純潔のアカ族が住む村です。
▼村の商店に繋がるコドモッチ





そしてミャンマーとの国境付近に位置するブラックアミーの基地へ
「付近」というのは
ボーダーと基地の間には村人のチェリー畑があるので...



お偉い方があたたか〜く歓迎してくださり
あつね〜なんて言ってお水まで出していたき、基地内でまったり。
葉巻き屋根の小屋がいっぱい...

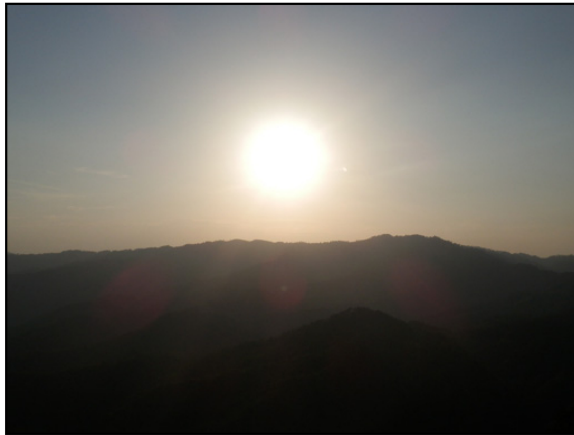


街の中を駆け回り日が落ちる前に
畜から一番近いお寺「ワット・シリキット」へ
"私にとって"大分キツイ坂を上がり、719段の階段を上ると...
デデーン!!!
こちら、王様のお母様の骨の一部が祀られているそうです。



回みに、薄在中3回上りました...

まあ〜での追加はあつとことくす。
晴れ・くもり・雨の日。ここから見える山も街もまったく違った顔を見せてくれます。



post by 長山 萌 | 日時: 2012.05.08 | [ボーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

旅の足跡 > 2012年05月 アーカイブ

12.05.06

ソントオで行く

[Tweet](#)

[Check](#)

毎日、写真を撮って
寝るときにはライチを剥いてモグモグ...
夜には、ヤモリの鳴き声を子守唄代わりに眠りに使っています。

そんな私は、只今タイ北部チェンライ県のメサローンという山間の街にいます。

私にとってメサローンの気候はとても過ごしやすいです。
日中は少々暑いですが、明け方、日没は気温が下がり
とても心地の良い涼しさです。

メサローンまではメチャンから
「ソントオ」というトラックの荷台を改造した乗り合いバスに乗ります。



メチャンからメサローンへのソントオは二種類

①青いソントオ

乗り換えなしの北周りで人数が集まり次第出発。乗り場が分かりにくい...
一人だと600~1000Bとられるそうです。

②緑のソントオ

乗り換え有りの南周りで、一時間おきにメチャンの市街地から出ています。
乗り換え地点で30B。メサローンに着いて30Bでした。
断然安い。そして安心。

因みに、旅旅行記には②の青のソントオの情報が記載されていませんでした...
▼緑のソントオ乗り場前

[20120503_004.jpg](#)

道路を挟んだ向かい側はメガネ屋です。
時刻表には2時間置きの間隔しか書かれていなかったのですが
実際には1時間置きにあります。多分...
▼そして、ここが乗り換え地点





やる気のなさそうな商店が一軒だけあります。
 ♪こちら、荷物を積んでくれたタイ人旅行者のKit君です。日本人の女性と一緒にでした。



彼はタイ南部にある島から来たそうで
 「寒い寒い」と言って夜はダウンジャケットまで着ていました。

post by 長山 萌 | 日時: 2012.05.06 | [バナーリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[旅の記録](#) > 2012年05月アーカイブ

12.05.01

メーチャン

[Tweet](#)

[Check](#)

本日よりタイの自由取材期間が始まりました
 早朝 5:30
 引率の富田先生に見送られスワンナプーム国際空港へ。
 富田先生、早朝（過ぎ）にも関わらず、本当にありがとうございます。

無事にチェンライ上陸です。



滞在は最終日のみで撮影なしのチェンライ市街地に関して下調べなしで来てしまった私は
 いきなり空港であたふた...
 観光案内所くらいあるたる〜♪
 と思っていましたが、観光案内所はありませんでした。
 とりあえず「Rental Car」と書かれた窓口へ行き
 タイ語で「メーチャン バハバーン」と書いたメモを見せ
 目的地まで車を出してもらいました。
 空港から、直接メーチャンまで行くような旅行者はあまりいなかどうかは知りませんが
 スタッフの方は皆さん、とても困惑していました。すいません

車で一時間ほどで目的地に到着しました。
 ミャンマーとの国境に近いので、途中で検問所がありました
 私はノータッチ。
 バスが通行する際には検問スタッフがIDと荷物のチェックに来るそうですが
 日本人（特に健全な旅行者に見える女性）は基本、ノータッチだとか...

着いて早々、私は車のオーナーに連れ出され結婚式へ
 こちらでは
 花嫁と花嫁の腕に村の人達が一人ずつ紐を結んでいきます。





結婚式の宴会では大量の食事と大量のお酒（ハイボール）をだしていただきましたが
私はお腹の調子がよろしくないので控えめに...



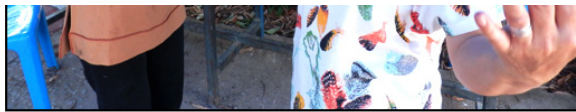
そしてカラオケ大会



D担当のおっちゃんとのシンガーは床屋のおばちゃん
そしてコドモッチはとにかく、腰と頭を振り回しているダンサーです

皆踊りたします。





右の方は宿のママさんです。
私を三人称で呼ぶ時にはなぜか「妹」と言います...なぜですか。

すぐにバハバーンを離れますが
今回、結婚式に参加したおかげで村の方々は
「日本人のカメラ女子、晴ちゃん」と私のことを認識してくれていると思うので
来週、ここへ戻ってきた際に
撮影がすんなりと進むことを祈って
長山はミャンマーとの国境に更に近づく
ドイ・メサローンへ出発します。

カテゴリ:

post by 長山 晴 | 日時: 2012.05.01 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)